



# 目次

報文	
鹿兒島湾におけるマダイの資源評価と放流計画	宍道弘敏, 滝本鮎子, 小畑泰弘, 浜崎活幸, 北田修一 161
音響手法を用いた来留見ノ瀬周辺におけるガラモ場の分布推定	南 憲吏, 濱野 明, 東条斉興, 中村武史, 安間洋樹, 宮下和士 171
ダイニーマ級網の流体力特性	熊沢泰生, 胡 夫祥, 木下弘実, 東海 正 180
酸素電極法とパルス変調クロロフィル蛍光法を用いた鹿兒島産ホンダワラ属 (ヒバマタ目) 藻類 5 種, マメタワラ, ヤツマタモク, ヒジキ, コブクロモク, キレバモクの光合成・温度特性	土屋勇太郎, Gregory N. Nishihara, 寺田竜太 189
mtDNA データに基づく北太平洋と南大西洋のアカイカ集団の遺伝的差異	若林敏江, 和田志郎, 越智洋介, 一井太郎, 酒井光夫 198
鹿兒島湾に生育する一年生アマモ局所個体群間の遺伝的分化	島袋寛盛, 堀 正和, 吉満 敏, 徳永成光, 猪狩忠光, 佐々木謙介, 仲岡雅裕, 川根昌子, 吉田吾郎, 浜口昌己 204
ミトコンドリア DNA 分析から推測されたアカイカの遺伝的集団構造について	黒坂浩平, 柳本 卓, 若林敏江, 重信裕弥, 越智洋介, 稲田博史 212
干潟の炭素・窒素循環におけるスナガニ類の役割	大園隆仁, 三浦知之 220
隠岐諸島西方海域におけるベニズワイ雌の成長	養松郁子, 廣瀬太郎, 白井 滋 230
ダイオキシン類低減油を用いたマダイ飼育の試み	本領智記, 山本浩志, 熊西敦則, 廣瀬秀樹, 澤田好史 241
河川から間欠的に供給される栄養塩によるノリ色調の回復	高木秀蔵, 清水泰子, 草加耕司, 藤沢節茂, 藤原宗弘, 渡邊康憲, 藤原建紀 246
2009 年冬-春季の渡島半島西部から津軽海峡におけるキタオットセイ <i>Callorhinus ursinus</i> の来遊状況 (短報)	堀本高矩, 三谷曜子, 小林由美, 服部 薫, 桜井泰憲 256
養殖ワカサギ腸内細菌の N-アシルホモセリンラクトン生産能 (短報)	陳 家輝, 小川真幸, 相良和之, 糸井史朗, 杉田治男 259
シンポジウム記録	
水産育種の現状とゲノム情報利用の将来展望	
はじめに	荒井克俊, 岡本信明, 谷口順彦, 中嶋正道 262
I. 水産生物における遺伝育種の現状	
1. 水産生物における親魚の遺伝的能力評価法	和田克彦 263
2. 水産生物における遺伝的能力評価に基づいた選抜育種	中嶋正道, 大日方駿介 264
3. 水産生物における交雑育種	村田 修, 家戸敬太郎 265
4. 水産生物における染色体操作による育種	藤本貴史 266
II. 水産育種におけるゲノム情報利用の現状	
1. 大規模遺伝子発現解析の水産育種への応用	近藤秀裕, 廣野育生, 青木 宙 267
2. 養殖魚類における耐病性形質の連鎖解析とマーカーアシスト選抜	坂本 崇, 藤(小林)加菜子, Cecilia C. Sanchez, 長谷川 理, 本多数充, 熊坂清弘, 村上啓士, 永井崇裕, 川口 修, 飯田悦左, 岡本信明 268
3. フグのゲノム地図作製と性統御および育種への応用	菊池 潔, 甲斐 涉 269
4. ゲノム情報の大量解析と水産育種への応用	荒木和男, 青木純哉, 甲斐 涉, 尾崎照遵, 吉田一範, 津崎龍雄, 坂本 崇, 藤(小林)加菜子, 岡本信明 270
III. ゲノム情報を用いた水産育種の将来展望	
1. ノリ育種の現状とゲノム情報利用の将来展望	三上浩司, 宇治利樹, 平田 遼, 高橋 潤, 嵯峨直恆 271
2. 遺伝マーカーを用いた水産生物遺伝資源の保全と管理	谷口順彦 272
3. 完全養殖時代におけるゲノム情報の水産育種への応用	尾崎照遵, 甲斐 涉, 青木純哉, 野村和晴, 荒木和男, 吉田一範, 津崎龍雄, 菅谷琢磨, 佐野元彦, 坂本 崇, 藤(小林)加菜子, 岡本信明 273